



## 脱プラスチックに陶器を

近年、海洋プラスチックごみの問題が地球規模で深刻化しています。なかでも、5mm以下の微細なマイクロプラスチックは、海流に乗って世界中の海に拡散し、分解されないまま漂い続けます。プラスチックごみが海に流れると、海の生物が餌と間違えて食べ、いずれその魚を食べる人間にも様々な影響をあたえます。現在年間1000万トンを超えるプラスチックごみが捨てられています。海洋プラスチックによる汚染の防止と削減のためには、プラスチック製品に代わる物を使用したり、便利だけど消耗の早い物ではなく長く愛用しゴミを減らす事が大事なのではと考えています。



撮影：グランフォート

自然由来の土からできている金山焼をご提案いたします。



金山焼は原料が土、窯を焚く時は化石燃料を使わず薪の窯で焼成しているなど、自然の素材を使い作っています。また、長く愛用できるというのもゴミの減少にもつながります。



津軽金山焼の「重ねっこ」  
フタが付いていてレンジでチンができ、そのまま食卓へおける便利な一品  
※黒い色合いの黒ひだすきはレンジが非対応です。



金山焼の実験 ～水の性質を変え、鉄分・カルシウムのある水に変化～  
ガラス・磁器・金山焼の3種類で根の付き具合を同条件で試した結果、金山焼の器に入った榊の根がこんなに伸びました！！水がきれいになり、割れた時もゴミとせずいろんな活用ができます。